



LA SOCIÉTÉ NOUVELLE DE CINÉMATOGRAPHIE

PRÉSENTE

JEAN-PAUL BELMONDO

DANS UN FILM DE
JEAN-LUC GODARD

AVEC
ANNA KARINA

GRAZIELLA GALVANI
DIRK SANDERS
ROGER DUTOIT

AVEC LA PARTICIPATION EXCEPTIONNELLE DE
RAYMOND DEVOS

DIRECTEUR DE LA PHOTOGRAPHIE RAOUL COUTARD
MUSIQUE ANTOINE DUHAMEL ÉDITIONS HORTENSIA

Pierrot LE

Fou



PRODUCTION GEORGES DE BEAUREGARD - S. N. C. (PARIS) - DINO DE LAURENTIIS (ROME)

EASTMANCOLOR TECHNISCOPE

世紀末の今、ゴダールの最高傑作「気狂いピエロ」が甦った!

ジャン＝リュック・ゴダールの不朽の名作であり、ヌーヴェル・ヴァーグの“波の頂点”ともいえる「気狂いピエロ」がニュープリント、新訳で甦った! 主演は「ハーフ・ア・チャンス」でアラン・ドロンと28年ぶりの共演を果たし、注目を集めているジャン＝ポール・ベルモンドと、ゴダールの愛妻だった(この映画の撮影の頃はすでに離婚していた)アンナ・カリナ。破滅へと逃避行を続けるふたりの行き着いたところは…。ベルモンドに“俺の生涯の一本”と言わしめた、映画史上もっとも重要で衝撃的問題作。

優しくて残酷、現実的で超現実的、恐ろしくて滑稽

「気狂いピエロ」公開当時のフランス版プレスシートにはこう書かれていた

「気狂いピエロ」とは「女と男のいる舗道」に立って「女は女である」事を知り、「新世界」に入って、「勝手にしやがれ」などと息たえだえにくたばらぬためには「はなればなれに」ならねばならぬ事を「軽蔑」の感情をもって発見する「小さな兵隊」なのだ。

(このプレスシートは、ゴダールのアイディアによるところが多いと言われている。)

見つけた! 何が! 永遠が!

わが友ピエロ———ジャン＝リュック・ゴダール (カイエ・デュ・シネマ1965年10月号)

私はこの人生それ自体なるものを、自然をバンでとらえたカットや死をフィックスでとらえたカット、短い映像と長い映像、強い音と弱い音等々をつかって、それにまた、自由の身であってしかも奴隷の身である男優ないし女優のアンナなりジャン＝ポールなりの肉体の動きをつかって、囚われものとして引きとどめようとしたはずなのだが、それにしても、男と女はそれぞれ、自由の身と奴隷の身のどっちと顔を踏む(相性がいい)ものなのか? 【中略】 私には映画を一本つくるたびに次第に、映画の唯一の大きい問題は、カットをどこでなぜ始め、そのカットをどこでなぜ終わらせるのかということにあると思えてくるのである。要するに人生は、蛇口の水が浴槽を満たし、それと同時にその浴槽の排水口から同じ量の水が流れ出て行く場合の水と同じようにスクリーンを満たすのである。(「ゴダール全評論・全発言」筑摩書房刊 奥村昭夫訳より抜粋)

Pierrot LE FOU
ピエロ・ル・フ

気狂いピエロ

キャスト:ジャン＝ポール・ベルモンド、アンナ・カリナ、サミュエル・フラー、ジャン＝ピエール・レオー
監督・脚本:ジャン＝リュック・ゴダール 原作:ライオネル・ホワイ(Obession) 撮影:ラウール・クタル
1965年/フランス・イタリア合作/イーストマンカラー/テクニスコプ/1時間49分/配給:アムーズ
©ROME-PARIS FILMS + DINO DE LAURENTIS CINEMATOGRAFICA 1965

『勝手にしやがれ』『気狂いピエロ』10.17(土)よりDAY&LATEロードショー!

●10.17(土)-10.23(金) ●各回入替制●

10:20	12:20	2:30	4:30	6:40	8:40
勝手に	ピエロ	勝手に	ピエロ	勝手に	ピエロ

●10.24(土)-10.30(金) 8:50pmより1回上映(日休)

24(土)	25(日)	26(月)	27(火)	28(水)	29(木)	30(金)
ピエロ		ピエロ	ピエロ	勝手に	勝手に	勝手に

○『勝手にしやがれ』の上映前にゴダール作品の予告編特集が上映されます。

前売券1500円好評発売中!

(当日一般1800円の処)

2回券2800円発売!(劇場チケットぴあのみ)

シネマールゴ梅田

東映会館南隣 06-343-1691

ゴダール作品連続公開記念

<LE FESTIVAL GODARD 勝手にゴダール!>開催!!

この秋、大阪ミニシアターでゴダール作品が連続公開!「男性・女性」も10月下旬公開。これを記念してスタンブラーやクラブイベントを開催。他にもゴダール満載。詳しくはチラシ、劇場窓口にて。